

夢のたねを楽校おもせ



令和8年6月1日(月)第5つづ

「まちづくりのたね」① ジュニア・リーダー誕生!!

みなさんは、「ジュニア・リーダー」をご存じですか？

主に地域の子供会活動をサポートする小中高校生からなるボランティアのことを宮城県では「ジュニア・リーダー」と呼んでいます。

面瀬地域でも「すまいる」というジュニア・リーダーサークルがあったのですが、実は令和になってからは登録者が0人となっていました。

私は、子供たちが学校で学んだことや身に付けた力を地域に生かすことができたらもっと面瀬地域がおもしろくなるんじゃないかなあと考え、4月の6年生の学年集会におじゃまし、今年一年間の過ごし方とともに、ジュニア・リーダーのチラシを配布しました。そして、

「みんながこれまでに身に付けたチカラを子供会活動や公民館のイベントのお手伝いなどで役立てると面瀬地域の笑顔が増えるし、面瀬がますます元気になると思います。みなさんには笑顔を創る『チカラ』があります。『できる人が、できる時に、できることを』でかまいません。やってみたいと思う人はぜひ申し込んでください。」と呼びかけました。

すると、後日、ぽつりぽつりと興味を持ってくれた友達が現れ、なんと!!5人のジュニア・リーダーが誕生しました。「止まっていた時計が動き出した!!」そのように思うとともに、これから令和の新しいジュニア・リーダー像を作っていく子供たちの活躍にわくわく感が止まりません。

私たち大人は、これまでどのくらい子供たちに「チカラ」をもらったでしょうか？

いつの時代も子供たちの活躍や笑顔は、身近にいる人を元気にする「チカラ」があります。

学校再編により令和10年度から面瀬中、階上中、松岩中が一つになり、現在の松岩中学校校舎で子供たちは学ぶ計画になっています。

面瀬中学校から子供の顔、笑顔、にぎわいがなくなったとしても、“面瀬公民館”が子供たちの活動拠点、居場所として新たな存在感を発揮する。そして、そこで活動するジュニア・リーダーのみなさんやそこに集う小中高生、多世代の交流が生まれる。地域の人たちが元気になる。

裏面につづく

子供たちが地域活動に本格的に参画することにより、面瀬が変わっていく。
面瀬の子供たちから始まる「OMOSE イノベーション(革新)」を面瀬のみなさんと共に応援していきたいと考えています。

そうそう、気仙沼市出身のマジシャン、マギー審司さん、本校の大内哲夫教諭、そして私もジュニア・リーダーのOBなのです。(^o^)ノー

ジュニア・リーダーQ&A

Q. ジュニア・リーダーには、いつでも登録申込ができますか？

A. できます。小学6年生から登録ができます。

登録したい友達は校長先生または面瀬公民館(電話 24-9393)で申込書をもらいましょう。

Q. 中学校や高校に進学しても部活動と両立はできますか？

A. できます。

ジュニア・リーダーはボランティアです。あくまで「できる人が、できる時に、できることをする」スタンスで活動しています。義務感はありません。

今後、部活動の地域展開が進みます。放課後や土日の自由度が増すので、両立しやすい環境になります。

Q. 得意なことがなくてもできますか？

A. できます。

「できることでお手伝いしてみたい。」「人の役に立ちたい。」「小さい子のお世話が好き。」そういう気持ちがあればだれでも登録できます。

「まちづくりのたね」② 面瀬小・中学校 学校運営協議会

5月23日(土)午前6時から約1時間、面瀬小・中学校 学校運営協議会有志のみなさんと尾崎防災公園のプランターに花の植栽を行いました。

朝早くからの作業でしたが、面瀬小学校の子供も数名参加してくれました。

「自分たちの住む街は自分たちの手で。」

「植栽」という活動をとおして、地域参画、地域を創っていく意識の「育ち」を楽しみにしたいと思います。

